

日本薬物動態学会 第20回ワークショップ

創薬の閉塞感を突破する薬物動態技術

2006年4月13日(木), 14日(金) 昭和大学・上條講堂(品川区旗の台1-5-8)

第一日目 4月13日, 8:50 ~ 19:30

基調講演

Drug Discovery in the 3rd Millennium
Institute for Tropical Diseases of the Novartis Foundation Alex Matter

テーマ1 探索 ADME/Tox スクリーニング

ADME/物性スクリーニングの創薬研究における位置づけ アステラス製薬 寺村 俊夫
Experimental Protocol for ADME/Tox Screening: Predictability of Human PK
Cyprotex Darwin Cheney
Early ADME/Tox Profiling During Discovery Research:
Streamlined, High Throughput Methods for Data Generation and Data Evaluation Takeda San Diego Daniel B. Kassel
In silico ADMET の有用性 - メディシナルケミストの立場から - 大鵬薬品工業 多田 幸雄

テーマ2 非臨床 ADME から臨床動態へ(実験データと数学モデルの融合)

薬物脳関門透過性評価法の開発:
条件的不死化細胞株からトランスポーター・プロテオミクスへの新展開 東北大学 寺崎 哲也
Practical Simulations vs Accurate Predictions: Best Use of the Known-Knowns to Discover Unknown-Unknowns
Shefeld University Amin Rostami-Hodjegan
シミュレーター機能付き薬物間相互作用データベースの構築 中外製薬 加藤 基浩
System Pharmacology: Innovative Paths to Better Medicines BG Medicine Michael C, Cerio
PK/PDに基づく臨床試験シミュレーションの有用性と限界 小野薬品工業 中出 進
The Scientific Basis of Proof of Concept Studies University of Adelaide Paul Rolan
懇親会

第二日目 4月14日, 9:00 ~ 16:30

基調講演

医薬品 R&D へのインビボイメージング法の応用 京都大学 佐治 英郎

テーマ1 in vivo イメージング技術を利用した PK/PD

PET を用いた創薬技術開発の道のりと今後の展望 アステラス製薬 西村 伸太郎
PET による薬物標的分子のイメージング 放射線医学総合研究所 須原 哲也
MRI を利用した非侵襲的薬物評価 日本メジフィジックス 中谷 暁

特別講演

個別化医療の臨床応用への条件 東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センター 鎌谷 直之

テーマ2 臨床試験推進

Human Phase 0 Microdosing Studies - Results of the CREAM Trial Xceleron Ltd Colin Garner
CYP3A4 and CYP3A5: Their Clinical Importance and Assessment of Function
University of Washington Kenneth E Thummel
有限責任中間法人医薬品開発支援機構の活動 昭和大学 高仲 正

参加ご希望の方は、学会ホームページから申し込んでください。(最新情報は、学会のホームページ <http://www.jssx.org/> をご覧ください。)
オンライン登録を行います。オンライン登録のできない方は、下記までご連絡ください。

最終締切: 2006年2月28日(火) 定員 450名(先着順)

参加費: 日本薬物動態学会 会員 15,000円(当日 20,000円) 非会員 20,000円(当日 25,000円) 学生 5,000円(当日 6,000円)
(要旨集代, 懇親会費含む)

連絡先: 〒101-8449

東京都千代田区神田錦町3丁目24住友商事神保町ビル

株式会社 ICS コンベンションデザイン内

日本薬物動態学会第20回ワークショップ登録事務局

TEL: 03-3219-3600 FAX: 03-3292-1811

Email: 06ws-jssx@ics-inc.co.jp

代表世話人: 武田薬品工業株式会社 三輪 哲生

主催: 日本薬物動態学会